



## 「14歳の進路選択」

校長 藤田 賢一郎

12月の全校朝会で、生徒たちに語りかけました。

私には、タイ王国に大切な友人がいます。友人は日本人女性で、タイ王国の方と結婚してタイで暮らしています。仕事は通訳ですが、もっと語学を学びたいと、数年前にタイの自宅を離れ日本の大学院に40代後半で入学しました。友人は「仕事に生かすためではなく、人生を豊かにすることが目的だ」と話していましたが、友人のこの選択は、私にはとても刺激的でした。友人の夫は、タイで金属製品を生産する自営業でしたが、こちらも50代になって、世界各国の自転車レースに参加するアスリートとなり、過酷なトレーニングに明け暮れているとのこと。

友人夫婦のこれらの選択は、私に、進路選択は人生が終わるまで続くこと、節目節目の選択を大切に自ら選ぶ重要性を実感させてくれました。

友人の子供、仮にAさんとしましょう。Aさんの14歳の進路選択にも、感心させられました。Aさんが通っていたのは、タイの日本人学校の中学校です。生徒の多くが、タイに仕事で派遣されている日本人ビジネスマンの子供で、当時は中学部までしかなかったために卒業前に日本に帰って、日本の高校に進学していました。Aさんのようなタイ在住生徒は数人で、高校進学のための進路選択は主に次の3択だったそうです。

- ①タイの現地高校
- ②親元を離れ日本の高校
- ③タイ、日本以外の国の高校

みなさんがAさんならどうしますか？

Aさんは、③アメリカ合衆国の高校で学ぶことに魅力を感じながらも、悩んでいました。タイ語も日本語もできますが、英語は中学2年生のレベルです。③を選ぶためには2年生のうちに渡米し、一人でアメリカ人家庭にホームステイしながら中学3年生の一年間で、英語をマスターして、英語で高校の入学試験を受けなければなりません。

相談を受けた私は、自分が中学2年生の時、一人でアメリカに行きたいって言えたかな？と考えながらもこう答えました。「人生の中で、親の庇護のもとで暮らす期間はとても短い。自分で自分の人生を切り拓く、その時はあっという間にやって来る。あなたは今

がその時。自分の人生は自分でデザインすればよいけれど、希望どおりの進路に進めても、『もしかしたら別の道のほうがよかったのではないかな』と思う時が必ずある。だから、たくさん悩めばよいし、親ともとことん話し合えばよい。そのことが、この先どんな障害が立ちはだかって『あの時、あれだけ悩んで決めた道だから』と前を向いて歩み続ける勇気となる」と。

Aさんは両親に見守られる中、自ら③を選択して渡米しました。14歳の進路選択でした。

コロナ渦となる前、友人と21歳になったAさんと東京のスペイン料理店で再会しました。Aさんの14歳の進路選択が話題となった折、友人が渡米後一月くらいは泣きながら電話してくることもあったと懐かしそうに話していました。Aさんも照れたような笑いを浮かべ、その後の進路を話してくれました。高校卒業後は、日本の大学で政治経済を学んでいること、再会したスペイン料理店は、Aさんのアルバイト先で、大学で専攻したスペイン語を早くマスターしたいから、ここでアルバイトをしていること…頼もしい表情で話すAさんに、私は赤ちゃんの頃から知っているAさんが自ら選んだ進路で、グローバルな学生として日本で過ごしているすばらしさを改めて感じ、この後、Aさんがどのような人生の選択をしても、きっと豊かな人生を送るに違いない、Aさんの将来に大きな期待をよせながら見守りたいと思いました。

12月には期末面談があります。3年生は、義務教育終了後の進路にかかわる三者面談となります。卒業後、18歳で成人となるまで、あっという間の3年間でしょう。2年生も4年後、1年生も5年後には、成人です。みなさん一人一人が、人生の節目節目を大切に、近い将来、一人前の社会人として社会から認められる自分、なりたい自分に向かって、大いに悩みながら自らの進路を選び、歩みを始めましょう。

あなたを見守る大人はたくさんいます。

令和4年も残すところあと一週間。保護者・地域の皆様から様々なご支援、ご協力をいただき、子供たちも教職員も輝いた一年でした。心から感謝申し上げます。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

## 令和4年 12月 23日 終業式 校長講話 「雪の一本道の歩き方」

まもなく令和四年が終わり、新しい年が来ようとしています。一番長い二学期のスタートは、熱中症予防のために、グラウンド使用を制限しなければならないような酷暑の最中でした。今日は、すっかり冬景色の中で終業式を迎えました。

全校の皆さん一人一人が、それぞれの目標に向かって一生懸命努力したことを、また、友人の努力を応援したり認め合ったりして、充実した二学期を過ごしながら成長したことを、とても嬉しく、頼もしく思います。

さて、みなさん、私は毎年、冬が訪れ雪が降り積もると、杉みき子さんの、ある作品を思い出します。郷土の作家、上越市在住、杉みき子さんはすばらしい作品をたくさん書いています。「わらぐつの中の神様」「ゆず」など、教科書に載っている作品もありますね。「ゆず」も、寒さの厳しい雪国ならではの、人々のあたたかな交流や人々の心のあたたかさをテーマにした話ですが、私が思い出すのは「雪の一本道」という話です。

「雪の一本道」は、雪が積もり、人が歩いた跡しかない雪の一本道で、おばあさんが、いろいろな人と行き交う様子を描いた心あたたまるお話です。こちらも、小学校の教科書にのっていたこともあるお話ですから、知っている人もいるかもしれません

杉さんは、「雪の一本道」のお話の中に、「雪の一本道で人と人が出会ったら、どちらかが道をゆずるのが、この雪国のならわしなのです」と書いています。

一人一人歩くことが精いっぱい雪の一本道で、両方向から人が来た時、どちらかが冷たい雪の中に足を埋めて、よけてあげなければなりません。どちらが譲るのでしょうか。

吹雪であれば視界も足元しか見えず、声もかき消されてしまい、誰かが前方から来るという気配だけです。譲る方の方は（きっと元気な中学生はいつも譲る人だったのでしょう）雪の中に足を埋めても、すれ違いざまのアイコンタクトから道を譲った人の「ありがとう」の気持ちを感じたり、相手が足早にすれ違う姿から「道を譲ってくれた人が足を雪に埋める時間が少しでも短くなるように」との気遣いを感じたりして、心のあたたかさを受け取っていたことでしょう。

私は、この話を思い出したたびに、雪国気質、雪国の人間らしいあたたかさを感じます。

そして、年末には、「今年は、『雪の一本道』のようなあたたかな心の交流にいくつ出会えただろうと、一年を振り返ります。」

令和四年も暮れようとしています。明日から冬休み、もう九つ寝るとお正月です。今日は、今年出会った心あたたまる出来事や、自分自身が二学期にがんばったこと、成長したことを、家族と一緒に振り返ってみましょう。また、家族をはじめ、皆さんの成長を支えてくださるたくさんの方への感謝の気持ちをかみしめましょう。そして、夢を新たに、希望をもって新しい年を迎えてほしいと願っています。

新年、3学期始業式には、新たな決意に満ちた明るい笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。



4階教室から 妙高、火打、焼山を望む

# 《 11月～12月のおもな出来事 》

## いじめ見逃しゼロスクール集会…3校の誓い…

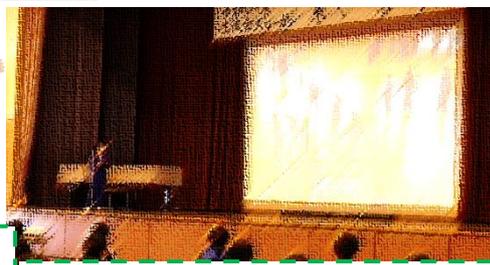
11月21日(月)に、板倉小と豊原小の6年生を招いて、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を実施し、三校でそれぞれが行ってきた活動を報告しました。板倉中学校は、「いじめ見逃しゼロ」を目指し、総務と各委員会で企画・運営を行ってきた成果を、スライドで上映したり、寸劇を取り入れたりと様々な工夫をして発表しました。最後の「いじめ見逃しゼロ宣言」は、全員で声をそろえて読み上げ、自分も周りの人も大切にすると誓いました。



**総務 絆タイム**(9月26日 12月23日)  
スライドで活動紹介。  
小中代表がゲームを実際に体験



**図書 いじめ・人権に関する本のポスター掲示**  
(11月7日～21日)  
活動紹介と図書の一節を朗読



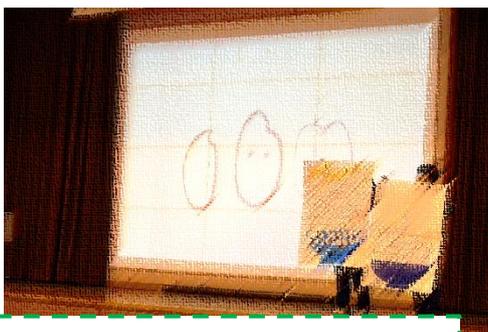
**体育+放送 球技大会**  
(11月17日)  
球技大会のビデオを流して説明



**生活+応援団+総務**  
あいさつ強化 WEEK  
(11月7日～11日)  
あいさつ運動の様子を寸劇で発表



**保健**  
広げよう!みんなの絆!  
(11月7日～17日)  
休日の楽しい過ごし方や元気になる曲を紹介



**JRC+総務**  
環境 WEEK ポスター制作  
(11月7日～18日)  
教室整備や校舎周辺の環境整備の様子をスライドで紹介



**給食 茶碗に積もるみんなの輪**  
(11月7日～16日)  
調理員さんへの感謝の言葉を紹介



**級長会**  
3年 クラス対抗 QQK<sup>3</sup>  
2年 ピア・カウンセリング  
1年 いじめ見逃し0人生ゲーム  
各学年の取組を報告

＜いじめ見逃しゼロ宣言＞  
私たちは、  
いじめを見逃しません。  
許しません。  
そのために、  
自分を大切にします。  
そして同じように、  
周りの人も大切にします。

## 生徒会役員選挙：立会演説会・投票が行われました

12月8日(木)に立会演説会・役員選挙が行われました。令和5年度の新生徒会役員を決める大切な選挙です。立会演説会では、各役員に立候補した生徒が責任者とともに、来年度の板倉中学校をどのように築いていくか各自の思いも込めながら毅然とした態度で発表してくれました。

生徒たちも来年度の役員に一票を投じる有権者としての自覚をもち、立候補者の発表を真剣なまなざしで聴いて投票に臨みました。

この度の選挙に際して、板倉区総合事務所様から、実際の選挙で使用する投票箱と記載台をお借りして、実際の選挙と同じように投票ができました。ありがとうございました。



## ～ 新生徒会役員の抱負～



会長 FS



副会長 NS



副会長 OH



応援団長 SK

板中生に悩みや困っていることをひとりで抱え込まず、友達や周りの人に相談してほしい。

みんながいろいろな立場の人と相談し合える、そんな環境を作っていきたい。

「環境ウィーク」を学校だけでなく地域の人にも共有していき、校内だけでなく、地域のポイ捨てをなくして板倉中学校区のゴミゼロを目指して活動していきたい。

学校は学習をするためだけにあるのではなく、仲間と楽しく生活を送るためにあるのだと思う。

全員が笑顔になれる板倉中学校を目指して活動していきたい。

さまざまな場面で発表の機会を増やし、慣れることで自信が芽生え、あいさつの強化にもつながる。

学校全体を盛り上げていき、活性化していきたい。

## 吹奏楽部 アンサンブルコンテスト in 上越文化会館

12月10日(土)に行われた新潟県アンサンブルコンテストに、二組の生徒たちが出場しました。緊張の中、ひとつのことをやり遂げたことは、今後の生活の中できっと役に立つのではないかと考えています。今後の活躍がとても楽しみです。

○ 管楽打楽器 5 重奏 曲目 春の扉 (Spring Arrives) 銅賞

Fl. WK Cl. KK Hr. WY

B.Cl. NT Perc. FT

○ 管楽打楽器 6 重奏 曲目 フラワー・クラウン (Flower Crown) 銀賞

Tp. MR Cl. UR B.Sax. SM

Trb. SR Perc. OS A.Sax. NK

### 吹奏楽部 1年1組 FT

私たちが演奏した「春の扉」は、すごく難しい曲でした。しかし上越教育大学の講師の方や顧問の西沢先生にたくさん教えていただき、自分でも家に帰ったら曲を聴くようにしました。本番はすごく緊張しましたが、成功してよかったです。とてもよい経験になりました。

### 吹奏楽部 2年1組 MR

一人ひとりが、自分の課題と向き合いながら練習をしてきました。2年生は、去年の経験を活かし、これまで学んだことを発揮できたコンテストだったと思います。結果は銀賞でしたが、心に残るコンテストになりました。



管楽打楽器5重奏に出演したみなさん



管楽打楽器6重奏に出演したみなさん

### 【 上越地区小中学校 技術・家庭科作品展 】

奨励賞 1年 IS

入 選 1年 YM FT IY IS ST  
SM SH OT

### 【 税に関する中学生の作文 】

上越市租税教育推進協議会長賞 3年 NT「税も積もれば力となる」

### 【 税に関する中学生の標語 】

上越租税教育推進協議会長賞 優秀 3年 KA「助け合い 未来に<sup>つな</sup>ぐ 10パーセント」  
高田税務署管内税務関係団体総連合会 会長賞

3年 NT「巡る税 誰かの優しさ やってくる」

### 【 バレーボール部 】

第2回 桜城バレーボール交流会 第2位 板倉中学校

### 【 卓球部 】

新井卓球大会 Bランクの部 女子団体 2位トーナメント 2位  
板倉中Aチーム TY AA FA MR

## 1月のおもな予定

※ 予定は変更することがあります。あらかじめご了承ください。

1月 5日	(木)	3年生実力テスト
10日	(火)	3学期始業式 生徒会新三役任命式
17日	(火)	私立高校入試(専願1次・併願・推薦等) 3年生給食なし
19日	(木)	全校朝会 生徒会役員任命式 委員長委嘱式 私立高校合格発表
20日	(金)	オープンスクール 生徒総会・引継式
23日	(月)	避難訓練
24日	(火)	教育相談 (～24日・25日・27日)
25日	(水)	3年生 三者面談 25日、26日、27日、2月1日
26日	(木)	全校朝会
30日	(月)	3年生 第3回定期テスト (～31日まで)